

# 活動報告書

## 野底ついでん祭り

### ■市町村名■

石垣市

### ■活動主体または地域リーダー■

野底ついでん祭り実行委員会  
実行委員長 松村 雅克

### ■活動日■

令和3年12月～翌2月 農業体験準備、開催

### ■参加者、人数■

- ・地域住民(子ども含め)約30名

### ■関連事業■

### ■基金事業を活用した理由■

・野底地区のシンボルであるマーペ岳伝説を伝える民謡「ついでん祭り」の開催を継続的に実施することで、地域住民が交流する機会となる。農業体験を通して地域交流や農地保全の大切さを学び伝える事ができ、地域の次世代リーダーの育成となるため基金事業を活用した。

### ■活動内容■

・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、祭りの開催が中止となったが、地域の子供達を中心に農業体験(農地整地作業、サトウキビの植付、堆肥投入耕耘完了まで)を行った。

### ■活動効果■

・昨今のコロナ禍の影響もあるなか、必要最低限の規模にて農業体験を行うことで、地域住民(子供含む)に対し農業の大変さと楽しさを経験させることができた。

### ■活動費用■

242,573円(県基金:231,999円、その他:10,574円)

## 【写真集】①サトウキビ春植え作業



(除草剤グリホエース散布作業①)



(除草剤グリホエース散布作業②)



(たい肥)



(整地作業①)



(整地作業②)



(苗とり体験)



(苗とり作業)



(苗とり)

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

## 【写真集】 ②サトウキビ春植え作業、農業体験



(苗とり作業)



(植え付け作業①)



(植え付け作業②)



(植え付け作業③)



(農作業体験を行う子供たち①)



(農作業体験を行う子供たち②)



(農作業体験を行う子供たち③)



(農作業体験を行う子供たち④)

# 活動報告書

## 伊原間集落の伝統行事を通じた繋がりづくり

### ■市町村名■

石垣市

### ■活動主体または地域リーダー■

伊原間公民館  
館長 比嘉 文男 (地域リーダー：前上里 徹)

### ■活動日■

令和3年12月 草刈り作業、伝統行事の事前準備等  
令和4年1月～2月 草刈り作業、農作業体験

### ■参加者、人数■

・地域住民(子ども含め)約100名

### ■関連事業■

### ■基金事業を活用した理由■

・伊原間集落は人口180人程の小さな村であるが、近年移住者が増えたことにより、豊年祭や獅子舞等で活気づいている地区である。農作物の豊作祈願の豊年祭をはじめ伝統行事の記録や発信、会場周辺の草刈り、地域の水源である農業用ダム大浦ダムの拝所・大浦大主周辺の清掃活動等を通じた伊原間の人や地域の繋がりづくりの推進を行うため基金事業を活用した。

### ■活動内容■

・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、豊年祭、旧盆明けのイタシキビラ(獅子舞)は、規模を縮小し開催を行い、周辺の草刈りや清掃活動、必要な神具、供物などを制作栽培する農業体験を通じた交流で、地域を理解し、愛着を持ち、伊原間の伝統継承の意味を学ぶ。

### ■活動効果■

・昨今のコロナ禍の影響により地域住民の動員が困難な中、大浦ダムの拝所・大浦大主周辺の清掃活動や農業体験を通じ、必要最低限の活動は行うことで地域の繋がりづくりを継続・推進することができた。

### ■活動費用■

90,872円(県基金:90,000円、その他:872円)

【写真集】 ①



(清掃作業①)



(清掃作業②)



(清掃作業③)



(清掃作業④)



(豊年祭①)



(豊年祭②)



(豊年祭③)



(豊年祭④)

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

## 【写真集】②



(フクダ制作①)



(フクダ制作②)



(フクダ制作③)



(フクダ制作④)



(イタシキビラ①)



(イタシキビラ②)



(節祭り①)



(節祭り②)

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

# 活動報告書

## 与那国小学校農業体験活動

### ■市町村名■

与那国町

### ■活動主体または地域リーダー■

主 催 : 与那国小学校PTA  
共 催 : 与那国町役場 まちづくり課  
地域リーダー : 真謝 正太郎

### ■活動日■

- ①水稲体験活動→観察(5・6月)収穫(7月)播種作業(2月)田植え(3月)
- ②農作物の栽培活動 5月~3月(年間を通して)
- ③農家さんの見学と講話 (9月~12月)

### ■参加者、人数■

与那国小学校 児童 71名

### ■関連事業■

関連事業なし

### ■基金事業を活用した理由■

稲作体験や校内教材園での農作物栽培等の農業体験を行うことで、農業の大切さや楽しさ、厳しさを実感してもらい農業への理解を深める為。また、本校児童が実際に農業を体験することにより、地域農業への理解と親しみをもってもらい、地域リーダーの育成を図るとともに、発達に応じたキャリア教育を関連させて指導するため。

### ■活動内容■

- ①水稲体験活動 (播種作業・箱苗作り・観察・田植え・稲刈り・調理実習)
- ②農作物の栽培活動 (学校農園での野菜の栽培・収穫体験と調理実習)
- ③農家さんの見学 (農家さんの仕事や与那国町の農業についての講話及び農場見学)

### ■活動効果■

- ・農業の厳しさや楽しさへの理解が得られた。
- ・地域の「人・もの・文化・自然」と関わることで、自分なりの深まりのある課題解決に取り組む事ができた。
- ・友だちと協同して、ねばり強く課題を追求することができた。
- ・探求的な学習を通して、学んだことを今後の生活に生かし社会や他者と積極的にかかわり、みんなのために役立てることができた。

### ■活動費用■

212,378円

【写真集】①



稲の苗の植え付けの仕方の説明を聞く



田植え作業体験



稲刈り体験作業



稲刈り体験作業



稲の「播種」作業体験



稲の「播種」作業体験



成長した稲の苗箱を広げる作業体験



収穫したお米を使って調理実習

※16枚程度の写真は抜粋して、解説を記入する。その他の写真はデータで提供下さい。

【写真集】②



農家さんの一日について知る（講話）



芋の植え付け



農家さんの仕事場見学（ビニールハウス）



なす・きゅうり等野菜の植え付け



農家さんの仕事場見学（サトウキビ畑）



カンダバー・なす・ブロッコリー等の収穫



キャベツの収穫作業



カンダバーとなすでお好み焼き作り

※16枚程度の写真は抜粋して、解説を記入する。その他の写真はデータで提供下さい。